

蓄電池による究極のエネルギー発生装置

(1) 従来の鉛蓄電池を利用した「特殊な合成磁場」の使用技術

- (a) 鉛蓄電池のテストは、下記のように実行された。
すなわち、希硫酸の電解質がチューブによって鉛蓄電池の外に取り出されたあと、希硫酸塩の電解質は「Eオイラー」による「特殊な合成磁場」を切断し、そして、最後に、希硫酸の電解質は鉛蓄電池に再び戻された。
- (b) 上記の試験結果によると、鉛蓄電池の出力電圧が少し上昇した現象が発生した。
- (c) すなわち、電流がリード (Pb) と二酸化鉛 (PbO) の電極に流されなかったけれども、上記のテストでは、充電に起因する同じ化学反応が「特殊な合成磁場」の使用技術によって磁気による電子エネルギーに起因する引き金として蓄電池で発生したことは明白である。
- (d) すなわち、充電に起因する同じ化学反応が鉛蓄電池のリード (Pb) と二酸化鉛 (PbO) の電極と薄い硫酸の電解液によって構成される活物質に発生したと考えられる。
- (e) しかしながら、鉛蓄電池の中の希硫酸のテストに関しては、問題なく鉛蓄電池の全面的なテストを実行することができる希硫酸の電解質の安全な循環装置の状態が作られる事ができるまで、テストを維持するために発生する危険の大きい可能性があるので、テストの進行をテストの進捗をかつて停止した経緯がある。
- (f) しかし、今日、従来の鉛蓄電池を使った「新しい充電システムによる新しい鉛蓄電池装置」は、「特殊な合成磁場」の使用技術の研究における進展によって開発されるかもしれない。
- (g) さて上記の複数個の「新しい充電システムによる新しい鉛蓄電池装置」が自動的に絶え間なく順番に負荷のために運転されることができれば、「新しい充電システムによる新しい鉛蓄電池装置」は考えられない理想的な発電機として実質的に機能するかもしれない。

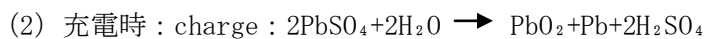
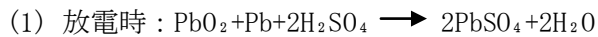
(2)

- (h) 上記の「新しい充電システムによる新しい鉛蓄電池装置」は、すべての既存の熱機関や人々の生活の電源として使われることができる究極の発電装置になるかもしれない。

(1-1) 従来の鉛蓄電池の作用について

- (a) さて、充電および放電によって、以下の物理化学反応は、鉛蓄電池の中で、可逆的に引き起こされる。

- (b) さて鉛蓄電池の全体的な化学変化は、以下の化学式で表される。



- (c) 最初は、「新しい充電システムでの新しい鉛蓄電池装置」を構成している電解質の希硫酸はチューブで鉛蓄電池の外側に取り出される、そして、「特別な合成磁場」が切られたあと、電解質の希硫酸は再び鉛蓄電池の中に戻される。

- (d) 「新しい充電システムによる新しい鉛蓄電池装置」における希硫酸の電解質の変化について

- (d-1) したがって、磁気による電子エネルギーがすでに誘導されて、高エネルギーになった電解質の希硫酸の「新しい充電システムでの新しい鉛蓄電池装置」は鉛 (Pb) と鉛の酸化物 (PbO) の電極と接触している状態になる、そして、活物質に関しては、イオン化は電子エネルギーによる引き金として始まる、そして、引き続き化学反応は始まる。

したがって、活物質は節(1-1)でアイテム(b)項における(2)の化学式による、状態に変えられる。

- (d-2) 他方、充電が従来の鉛蓄電池で実行されるとき、電流による電子エネルギーが希硫酸の電解質と接触している鉛 (Pb) と鉛の酸化物 (PbO) の電極の表面上に流れているので、活動物質に関しては、イオン化は電子エネルギーによる引き金として始まり、引き続き化学反応は始まる。

したがって、活性物質は節(1-1)でアイテム(b)項における(2)の化学式による、状態に変えられる。

(3)

- (e) 上記の電解質の希硫酸と鉛 (Pb) と鉛の酸化物 (PbO) の電極の活物質に対する引き金としての能力について、「新しい充電システムでの新しい鉛蓄電池装置」による磁気による電子エネルギーと従来の鉛蓄電池の充電における電流による電子エネルギーについて、比較する。
- (e-1) すなわち、液体コンクリートの凝固の前後に「第3章の詳細」の第6節ですでに実行された液体コンクリートについてのテストでは、水による磁気による電子エネルギーの強いトリガー作用によって、従来のコンクリートに関する技術と科学によって全然考えられることができないくらい大きい液体コンクリートの効果的な特性変化は、すでに発生した。
- (e-2) 上記の理由により、「新しい充電システムでの新しい鉛蓄電池装置」で電流を電極に直接加えることなく「特殊な合成磁場」の使用技術により電気を鉛蓄電池に充電することができることは、基本的にあり得る可能性がある。
- (f) 「新しい充電システムによる新しい鉛蓄電池装置」の構成と効果について
- (f-1) 「新しい充電システムによる新しい鉛蓄電池装置」の構成の電解質の薄い硫酸塩の循環の用途へのポンプが消費する電力は、鉛蓄電池での解放電気の電力と比較すると非常にわずかな電力である。
- (f-2) 取分け、「新しい充電システムによる新しい鉛蓄電池装置」が非常に大きい電力を発生することができるにも拘らず、大きさは考えられないほど非常に小さいことは最も役に立つ特徴である、そして、更に使用のための安全性は非常に高い、そして、従来の蓄電池が現状のまま基本的に使われるので、開発のための時間は短くなる。
- (f-3) さて上記の複数個の「新しい充電システムによる新しい鉛蓄電池装置」が自動的に絶え間なく順番に負荷のために運転されることができれば、「新しい充電システムによる新しい鉛蓄電池装置」は考えられない理想的な発電機として実質的に機能するかもしれない。
- (f-4) したがって、熱機関でのあらゆる従来の化石燃料の使用が「鉛蓄電池での新しい発電装置」によって止められるとき、二酸化炭素 (CO₂) による地球温暖化と有害な排気ガスの世界的な空気環境の汚染は防止されるに違いない。

(4)

以上

〒929-1171

石川県かほく市木津二160-2

米出 達雄 : 「特殊な合成磁場」の利用技術の開発者および発明者

メール : wxdxn7493000@ybb.ne.jp

ホームページ : URL : <http://www.vaporization-energy/>